

# 苦情解決結果報告書

明照保育園

☆申出人氏名 匿名

・電話 ・玄関 ・手紙 ・連絡帳 ・メール

第三者委員への立合い・報告の可否 否

## 【内容】

・日 時 R3年9月1日(水)

県外学生の実習受け入れについて

- ① 園だよりで県外学生の実習の予定を記載したところ、新型コロナウイルスの感染状況が厳しい中、県外学生を受け入れることへの不安の声が、横手市子育て支援課に匿名のメールが届いた。メールの件でどのような対策をとっているのか確認の連絡が子育て支援課より入った。
- ② 電子連絡帳でも「感染対策(ワクチン接種状況・行動歴)が気になる」などの記載があった。
- ③ 登園時(子どもと離れた後)に不安を口にされる保護者もいた。

## 【解決結果】

- ・事前に保育実習生の感染対策情報を伝えていなかったことで、保護者の方々の不安を増大させてしまった。そのことを謝罪し、感染対策を徹底した上での実習生受け入れについて理解を求める文書を園長が作成し配布した。

—文書内容—

- ・事前に、帰省後自宅で2週間の自粛をすること(その間も体調管理・行動記録を表に記載する)を確認する。
- ・学校に学生のワクチン接種の有無を確認し、接種記録を園に提出してもらう。
- ・実習の数日前にPCR検査で陰性を確認する。(検査結果報告書を園に提出する)
- ・実習初日、事務室棟玄関から直接事務室に入り(人の接触を最小限に抑え)、看護師が抗原検査で陰性を確認した後、実習に入る。
- ・日常的な感染対策の徹底と体調の確認を行う。

※連絡帳や口頭で不安を感じていることが確認できる保護者の方に対しては、園長が直接謝罪と状況説明をした。理解していただいた方もいたが、県内の保育所でも感染者が出ていることや、当園の運動会も縮小開催になっている件もあることから、難色を示される方もいた。

## 【備考】(その後の様子・周知についてなど)

- ・このような状況の中、実習を希望する学校とは感染対策についてもっと綿密な情報共有が必要であった。今後は事前の確認を徹底していきたい。
  - ・保護者の皆様に対して、県内在住の看護実習生受け入れについて理解を求める文書は4月にお渡ししていたが、保育実習生についての文書はお渡ししていなかった。今後は保育実習生(県内外)についても周知し、事前に理解を求めるようにしていきたい。
- (4月時点での感染状況や、国・県の方針等を踏まえた園の方針と、状況に応じて対応していくことへの理解を求める)

